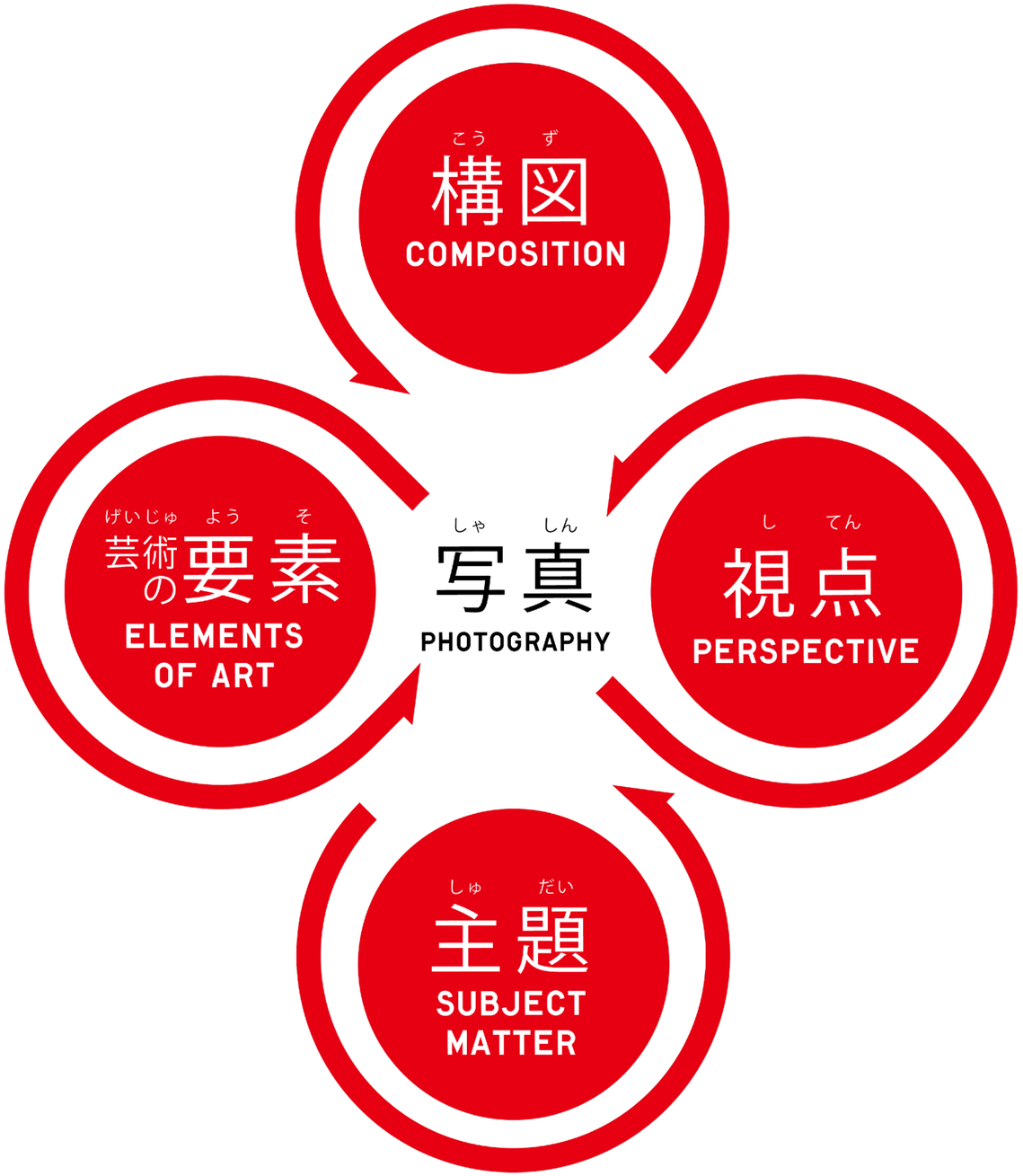
写真への入門
KYOTOGRAPHIE 2019
子ども写真コンクール2019

PHOTOGRAPHY
4 KEY CONCEPTS



もくじ

「構図」

「視点と遠近法」

「芸術的とされる作品とは」

「主題」

子ども写真コンクール2019

ステップ

ステップ 1

キーワードを理解しよう

ステップ 2

しくみを観察して、分析してみよう

ステップ 3

撮ってみよう！

ステップ 4

みんなで評価し合おう

1 構図
キーワードを理解しよう！

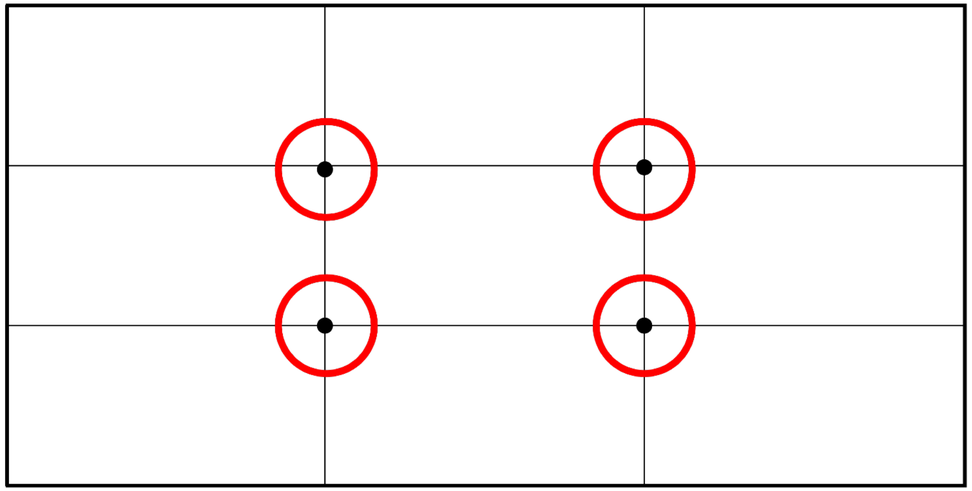
構図: 作品の中に被写体（ひしゃたい）などがどのように写っているかを「構図」といいます。

「構図」のバランスがいいと、写真も良くみえます。

三分割方は、写真のバランスを取るのに良い手法です。

等間隔に縦横に２本線を引き９等分し、被写体の位置を導き出します。

その引いた線、または線同士が交差したところに被写体をおくことで、写真構成のバランスがとれます。



2 構図
観察、分析してみよう！

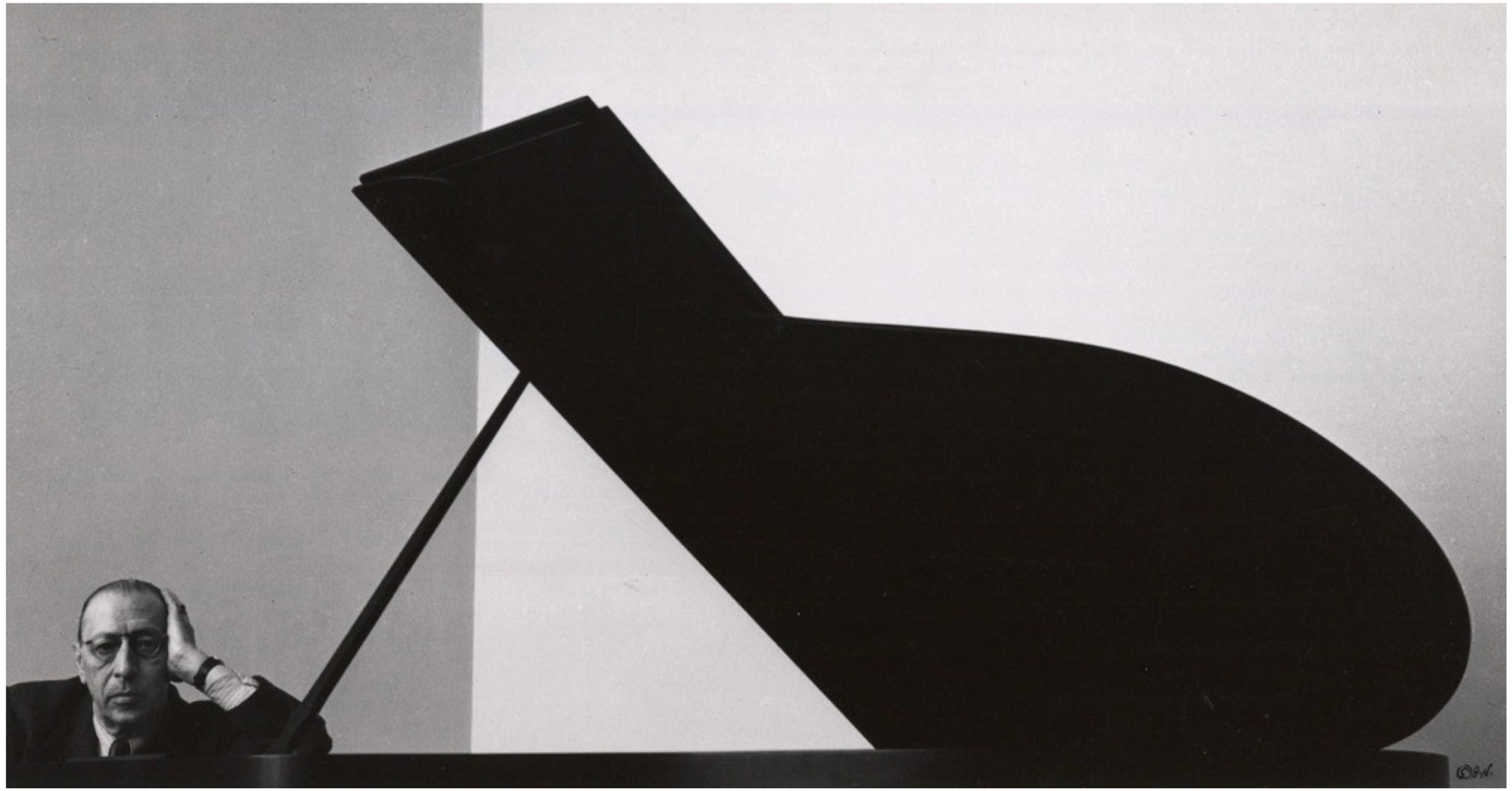
写真の上に縦横2本ずつ線を引いて三分割します。

被写体はどのようにそれぞれの枠内に配置されているかよく見てみましょう。

写真のどのあたりに特に目がいきますか？

それぞれの写真の構図は、どこが似ていて、どこが違いますか？

どうして作者はその構図を選んだのだと思いますか？

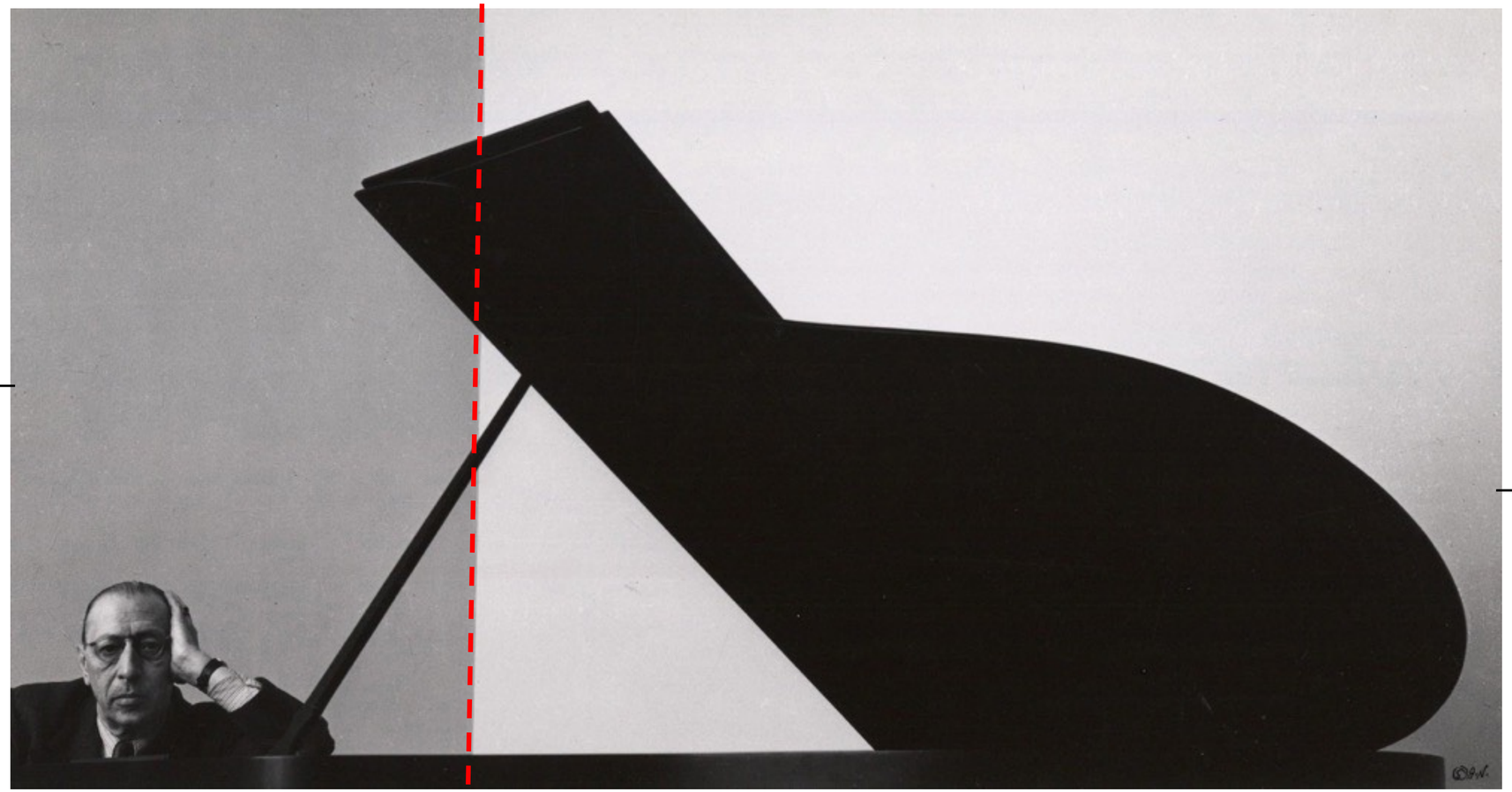


アーノルド・ニューマン「イゴール・ストラヴィンスキー、作曲家・指揮者」ニューヨーク、1946年 ©KYOTOGRAPHIE 2017

構図

3分の１に背景が分割されることにより、前面にうつるピアノ(被写体)が背景と平たくなり一面になってる様に見えます。
この写真は、遠近法を使ってない貼り絵の様に見えます。ストラヴィンスキーは幾何学的かつ抽象的な空間で表現されてます。
もしかしたら、彼の精神的な空間のようなものでしょうか？

指揮者は下方左側の一番下に配置されています。



ストラヴィンスキーは、濃い灰色の壁の前にいて、グランドピアノの影に取り込まれています。

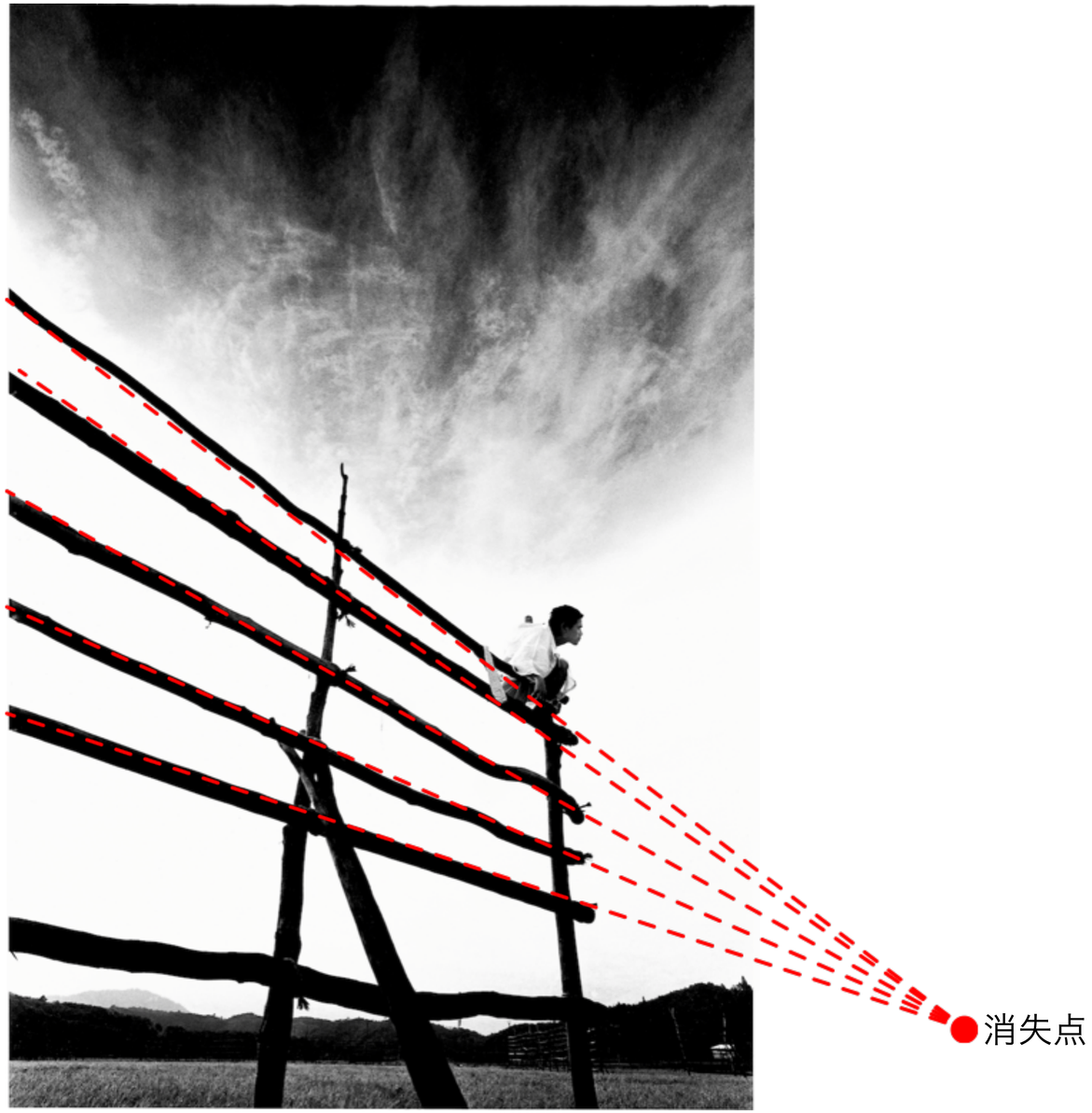
アーノルド・ニューマン「イゴール・ストラヴィンスキー、作曲家・指揮者」ニューヨーク、1946年 ©KYOTOGRAPHIE 2017

細江英公「鎌鼬」 #8 ©KYOTOGRAPHIE 2013

構図

被写体がどこにあるか

見てみましょう。



細江英公「鎌鼬」 #8 ©KYOTOGRAPHIE 2013

宮崎いず美「riceball mountain」2016年 © 2016 Izumi Miyazaki KYOTOGRAPHIE 2018

宮崎いず美「riceball mountain」2016年 © 2016 Izumi Miyazaki KYOTOGRAPHIE 2018

構図

この写真は架空のもので、
デジタル・コラージュで作られています。

写真家であり、自ら被写体でもある宮崎いず美さんは、
想像ふくらむ夢心地の世界を作り出しています。

おにぎりは山のサイズで、
彼女は小さなお人形のサイズです。
（もしかしたら、不思議の国のアリスの様な気分かもしれません。）

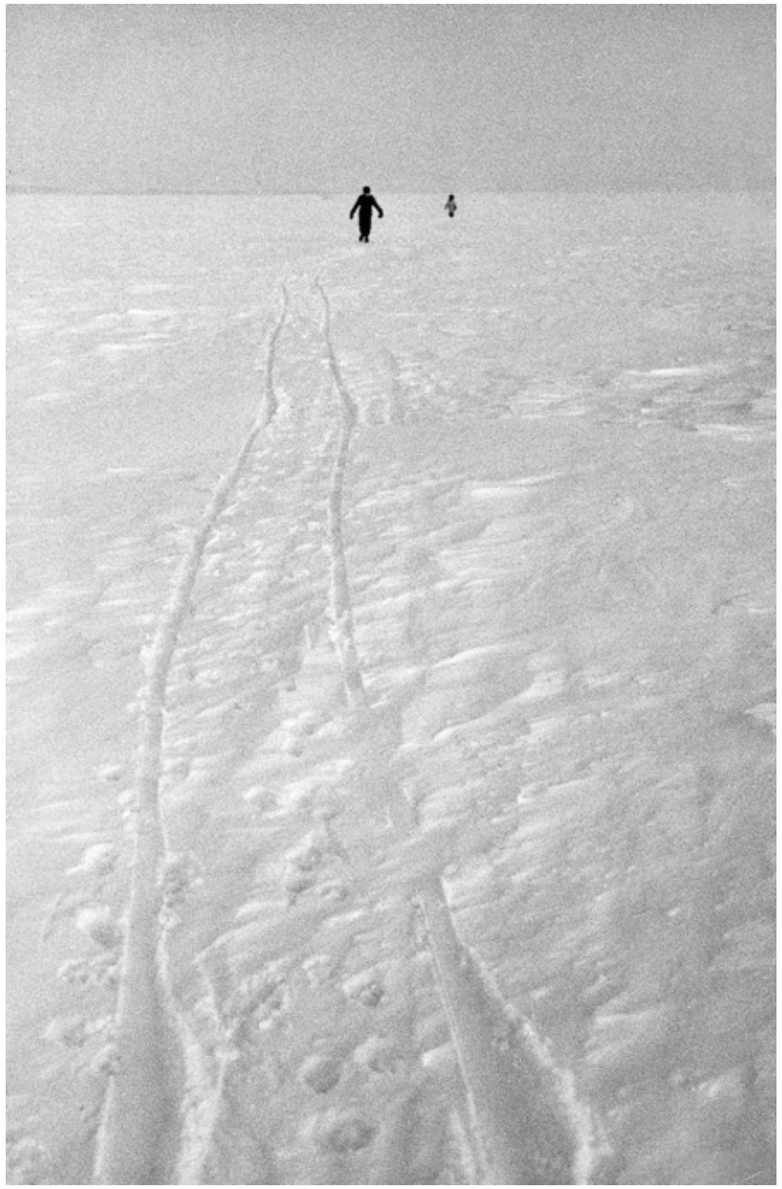
The golden age of Japanese photography
(1860-1875).
Collection Christian Polak
©KYOTOGRAPHIE 2013

構図

画像は対称に構成されているようです。

しかし、よくみると完璧なストレートではなく、今にでも落ちてしまいそうな不均等が強調されています。

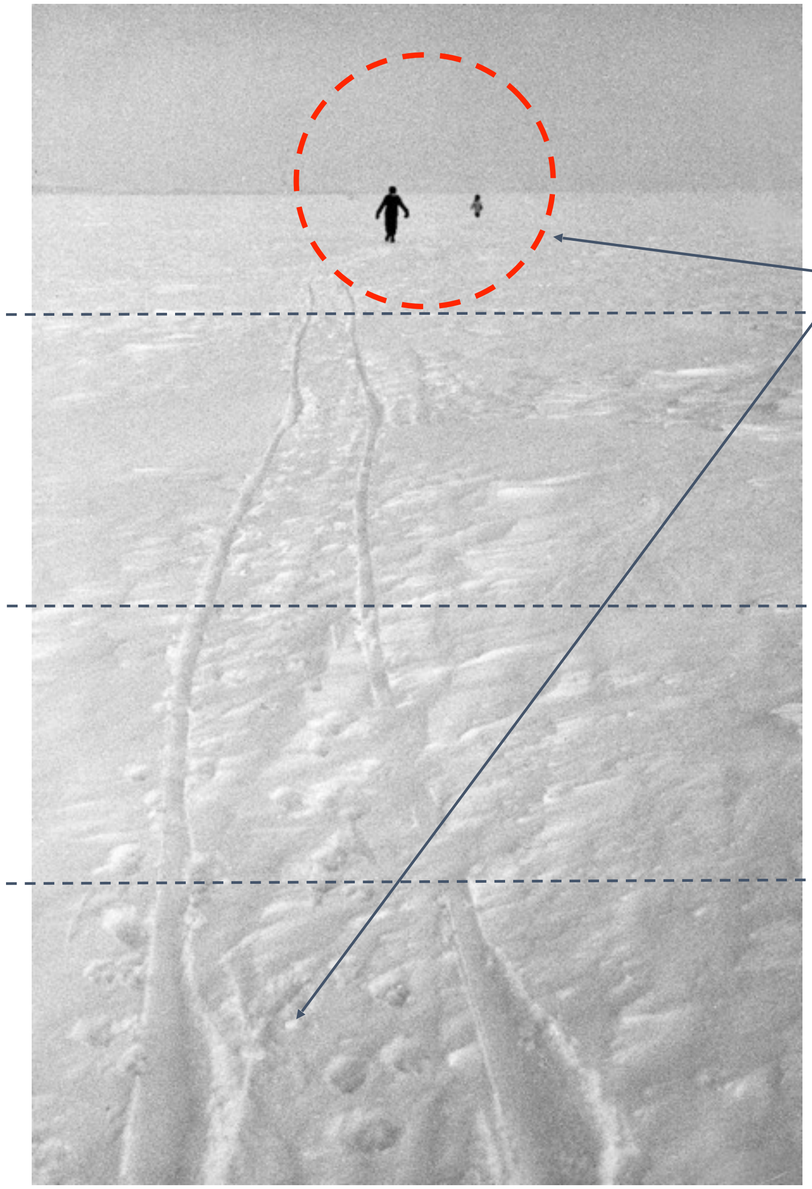
The golden age of Japanese photography
(1860-1875).
Collection Christian Polak
©KYOTOGRAPHIE 2013



Marc Riboud, フランス 1958

© Marc Riboud
KYOTOGRAPHIE 2015

構図



写真のどこに人が配置されているかみてください。

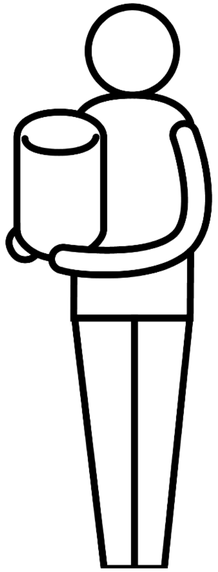
上の方に2人いて、彼らの足跡があります。

雪が構図の4分の3をしめていることで、人間の弱さや弱点を表しています

Marc Riboud, フランス 1958

© Marc Riboud
KYOTOGRAPHIE 2015

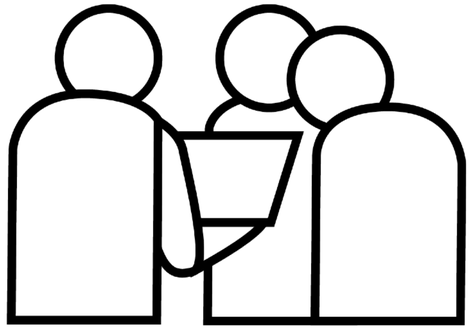
3 構図
撮ってみよう!



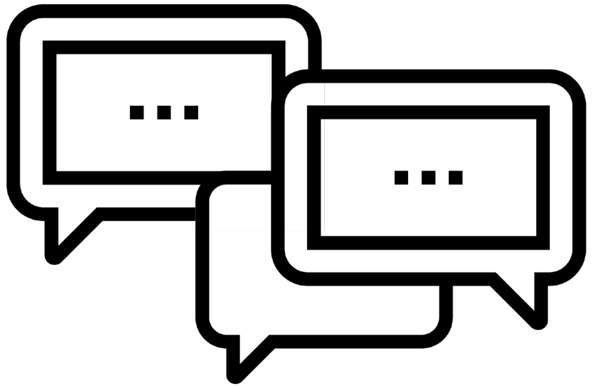
被写体となる物や人、
風景を選びましょう。

被写体の物や人を動かしてみて、
構図を変えて写真を5枚撮影して
みましょう。

4 構図
講評し合おう!

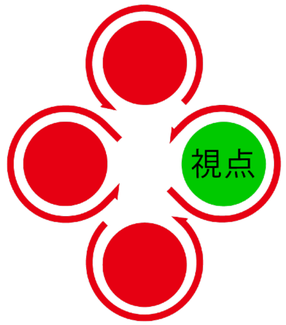


２～３人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。



- どのように三分割法を生かしましたか？
- どの写真が一番印象に残りますか？
- なぜそれが印象深いと思いますか？

1 視点と遠近法
キーワードを理解しよう！

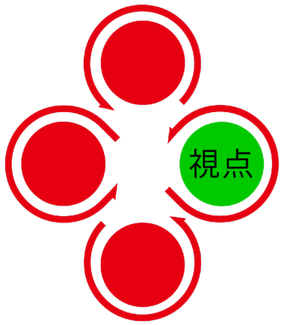


遠近法: 私たちは三次元（立体）の世界にいます。

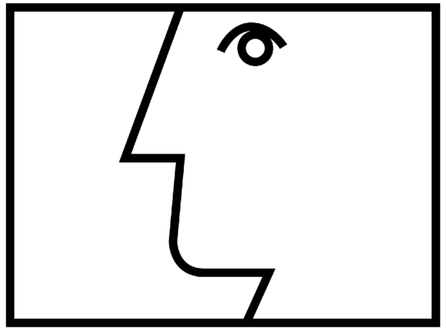
写真や絵のような二次元（平面）の世界で、奥行きや距離があるように撮影する方法を遠近法といいます。

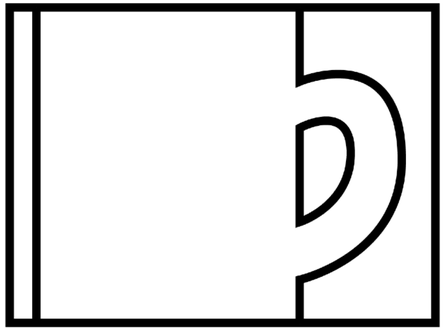
写真がどの「視点」からどのように見えるかをよく考え、奥行きや距離の見せ方を工夫することで、知らないうちにこの手法を使っていることもあります。

1 視点と遠近法
キーワードを理解しよう！

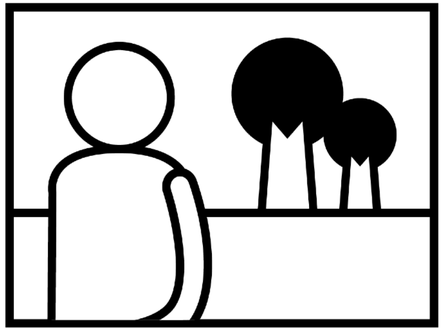


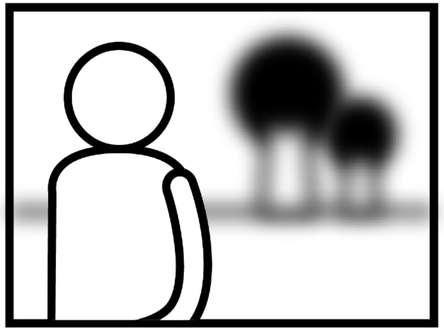
作品全体を、ひとつの被写体だけでうめる撮影方法を使う写真家もいます。



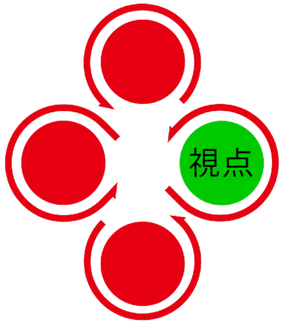


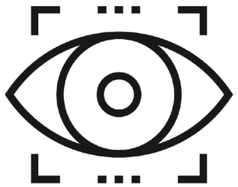
風景の深さ: 被写体の前と奥の距離感をみチェックしながら、被写体にピントがあってることにも気をつけましょう。



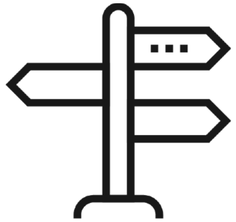


2 視点と遠近法
観察、分析してみよう！





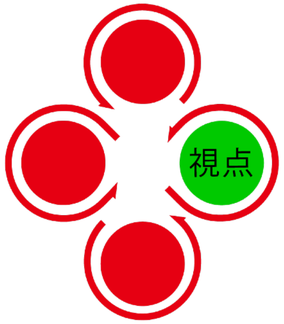
視点：どこからその被写体を見ていますか?



距離：被写体は近い、それとも遠い？

なぜ、それぞれの写真家はその見方を選んだのだと思いますか？
この写真のポイントはなんですか？

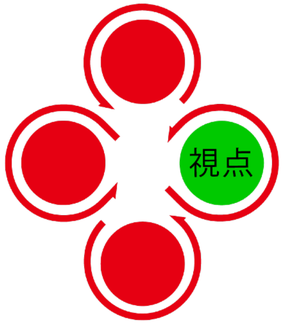
銭海峰（チェン・ハイフェン）「2015年5月27日、
六盤水から紅果へ、6003号」2015年
©KYOTOGRAPHIE 2016



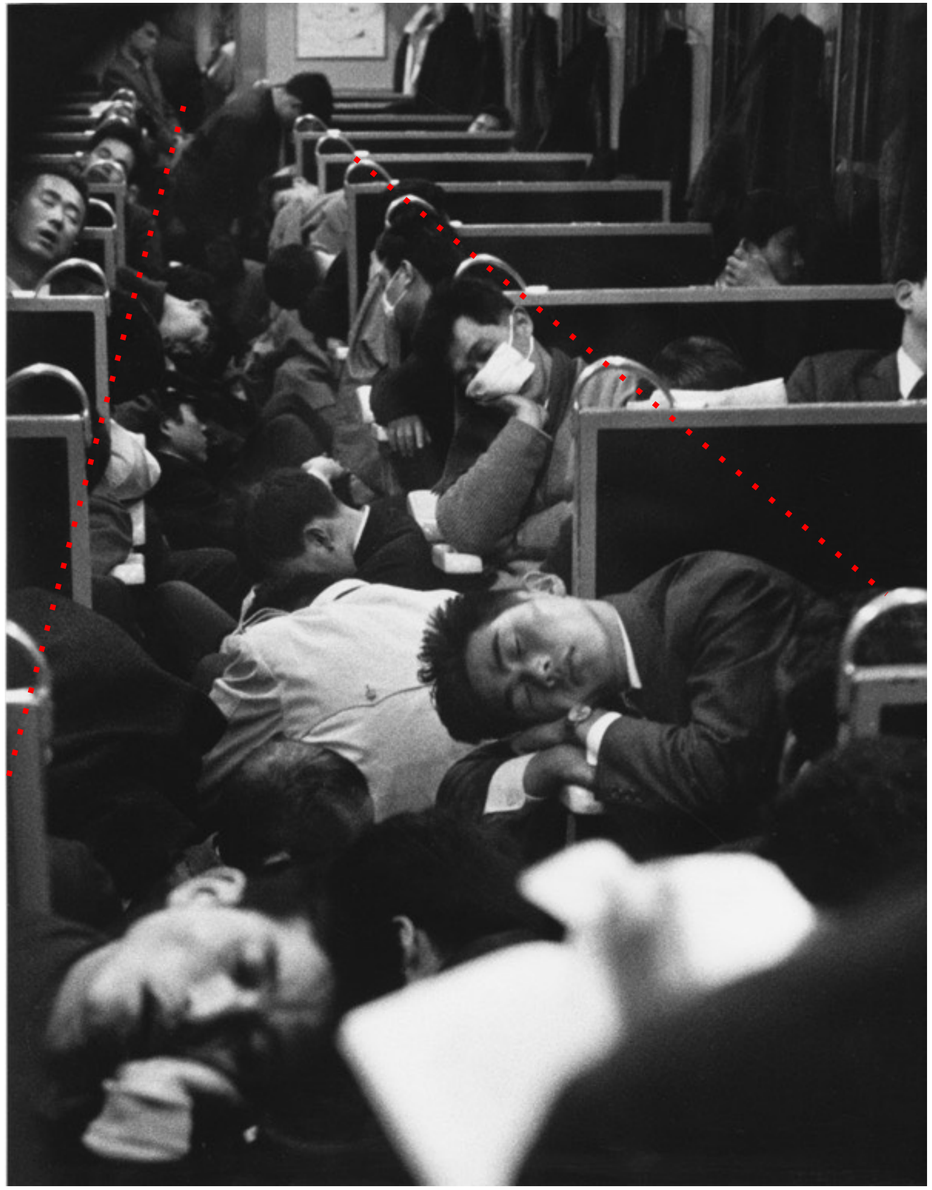
一点透視法：
奥行きの先が視界の一点に
あつまっていく–消失点

銭海峰（チェン・ハイフェン）「2015年5月27日、
六盤水から紅果へ、6003号」2015年
©KYOTOGRAPHIE 2016

Early morning train in Japan, 1964
© Nicolas Bouvier
KYOTOGRAPHIE 2013



この作品では奥の方まで見える状態です。
被写体が広がっているのがわかります。
この様な被写体深度が深い状態とは、ピントが合っているように見える部分が広い状態となります。



Early morning train in Japan, 1964
© Nicolas Bouvier
KYOTOGRAPHIE 2013

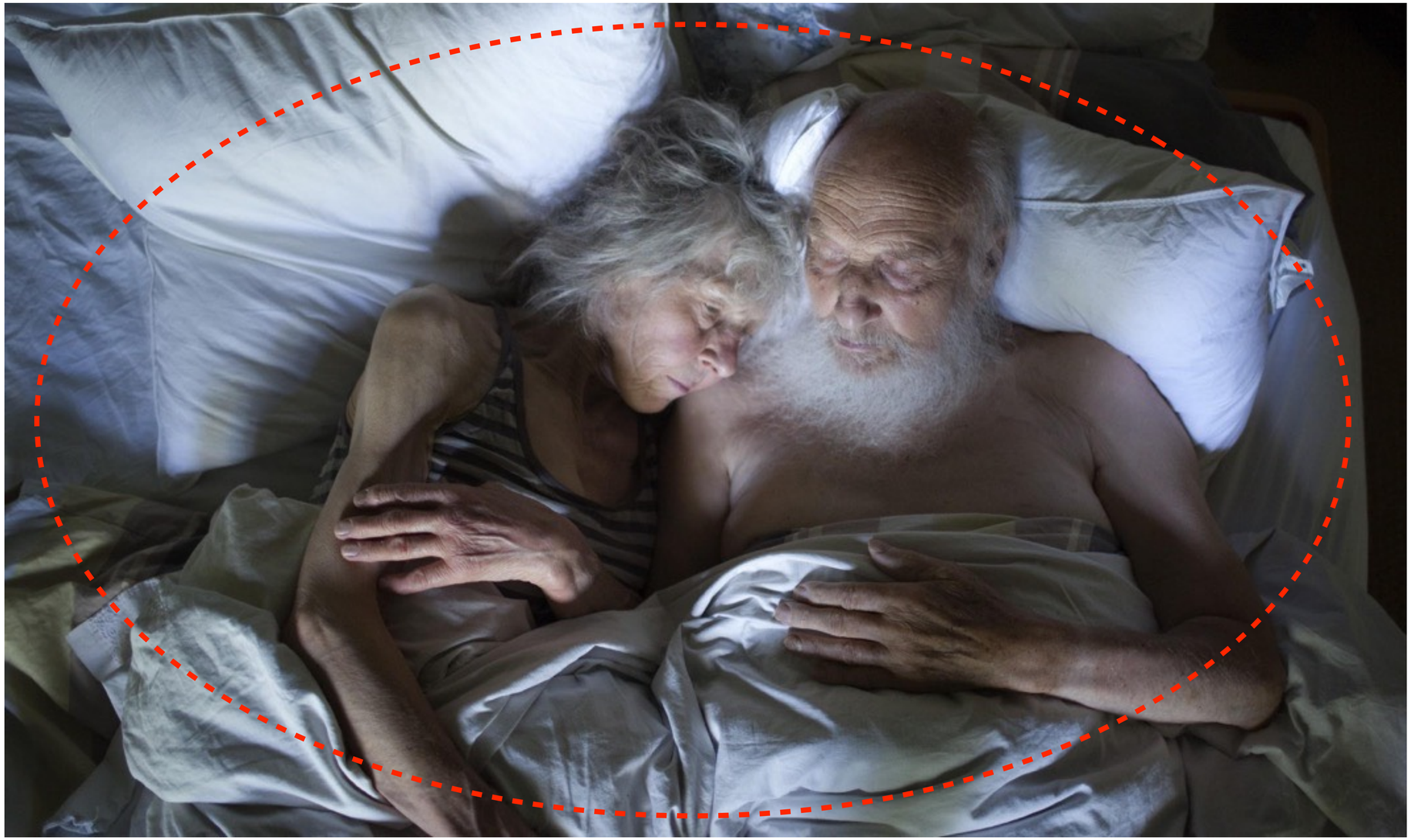
フランシス・ウルフ［アルバム『ブルー・トレイン』に使用されたジョン・コルトレーンの写真,1058］1577 / © Francis Wolff/ Mosaic Images
KYOTOGRAPHIE 2015

作者の視点は、まるで床に座り込んで男の人を見上げてるようです。（仰視）

フランシス・ウルフ［アルバム『ブルー・トレイン』に使用されたジョン・コルトレーンの写真,1058］1577 / © Francis Wolff/ Mosaic Images
KYOTOGRAPHIE 2015

ハンネ・ファン・デル・ワウデ「エミーとベン、ベッドにて」《Emmy's World》シリーズより、2013年

©KYOTOGRAPHIE 2017



ハンネ・ファン・デル・ワウデ「エミーとベン、ベッドにて」《Emmy's World》シリーズより、2013年

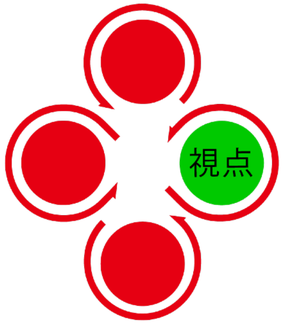
©KYOTOGRAPHIE 2017

作者はこのシーンの真上から撮っています。これも「鳥瞰」と呼べるでしょう。

英語ではBIRD-EYE＜鳥の視線＞と言います。

ティエリー・ブエット「生後25分の男の子」2008年

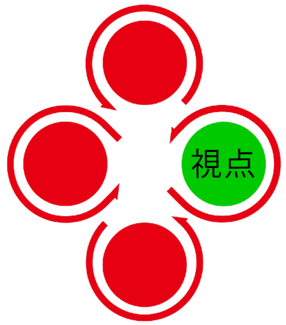
©KYOTOGRAPHIE 2016

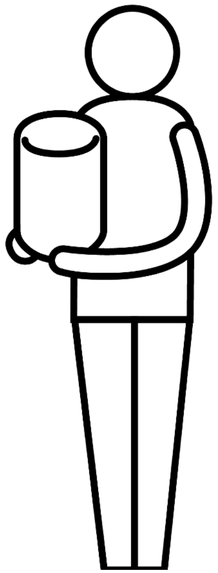


背景の部分がほとんどなくて、
被写体である赤ちゃんの顔が
フレームをしめています。

ティエリー・ブエット「生後25分の男の子」2008年
©KYOTOGRAPHIE 2016

3 視点と遠近法
撮ってみよう!





鳥になったつもりで見下ろしてみましょう。

虫になったつもりで下から見上げてみましょう。

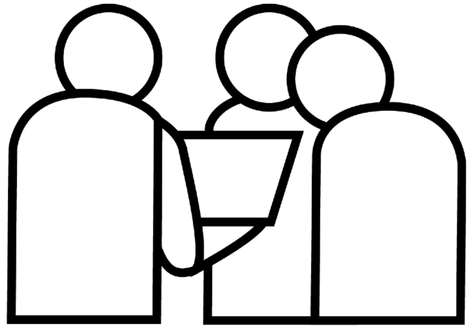
目の高さからまっすぐ見てみましょう。

遠くから被写体を撮影してみましょう。

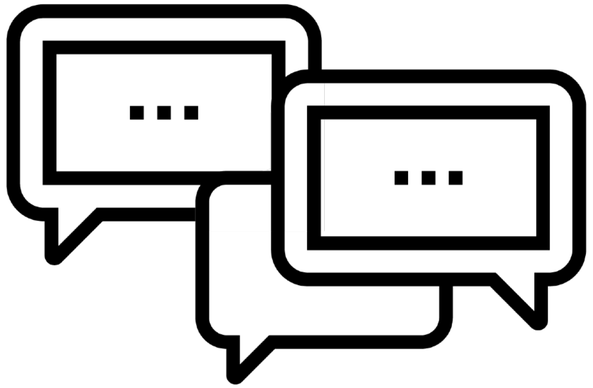
フレームを埋める。

被写体を選んで、いろいろな「視点」から写真を撮ってみましょう。

4 視点と遠近法
講評し合おう!

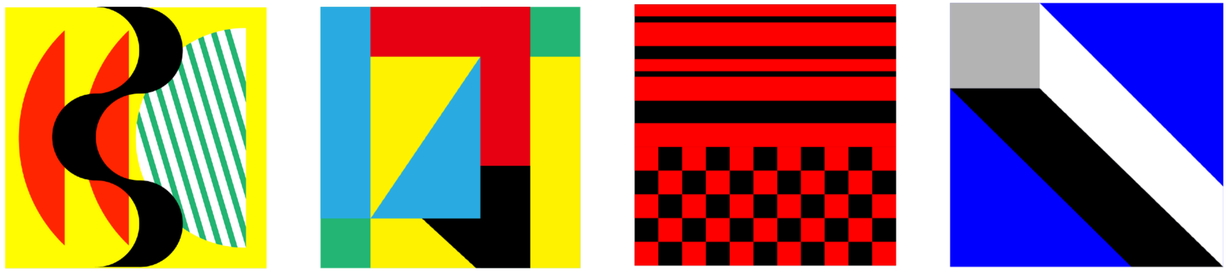


２、３人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。



- あなたは、どの写真が面白いと思いますか？
- その写真には「遠近法」が使われていると思いますか？
- 視点を変えるとどのように物の「見え方」が変わりますか？
- 見え方」が変わると、写真に写っているものに対してのあなたの「感じ方」も変わりますか？

1 芸術的とされる作品とは
キーワードを理解しよう！



線、形　　色　　質感　　光

「芸術的（げいじゅつてき）」かどうかを見る部分（要素）：線、形、色、色あい、質感、空間、光など、作品を作っているそれぞれの要素。

「芸術的」に見える理由（原理（げんり））：模様、繰り返し（反復）、バランス、強調、リズム、統一感（とういつかん）などが、それぞれの部分（要素）によって作り出されることによります。

独自（どくじ）の美しさや面白さ（美的感覚（びてきかんかく））：これらの要素や原理に、作品の素材と作者の技法がうまく結びついてはじめてその作品に「他とは違う」独自の美しさや面白さがあるといえます。

2 芸術的とされる作品とは
観察、分析してみよう！

芸術の要素

写真の中から見いだせる線、色、形、質感、模様をよく観察してください。

独自の美しさや面白さ（美的感覚）があると思いますか？
そう思う理由を自分の言葉で表してみましょう。
写真は光がないと撮れません。写真の中で、光はどのように表現されているか考えてみましょう。
作者はこれらの要素を使って、写真をどういうふうに見せたいと思っているのでしょうか？
また、作者の考えや気持ちについても、考えてみましょう。

ロミュアルド・アゾゥメ「Aladé」2016年 © Romuald Hazoumè. Courtesy October Gallery, London. KYOTOGRAPHIE 2018

動きのあるマントは翼の様にみえます。マントは空と見学する人々と地上を対角線上に結んでいます。

地面の影はダンサーの動きを強調させます。

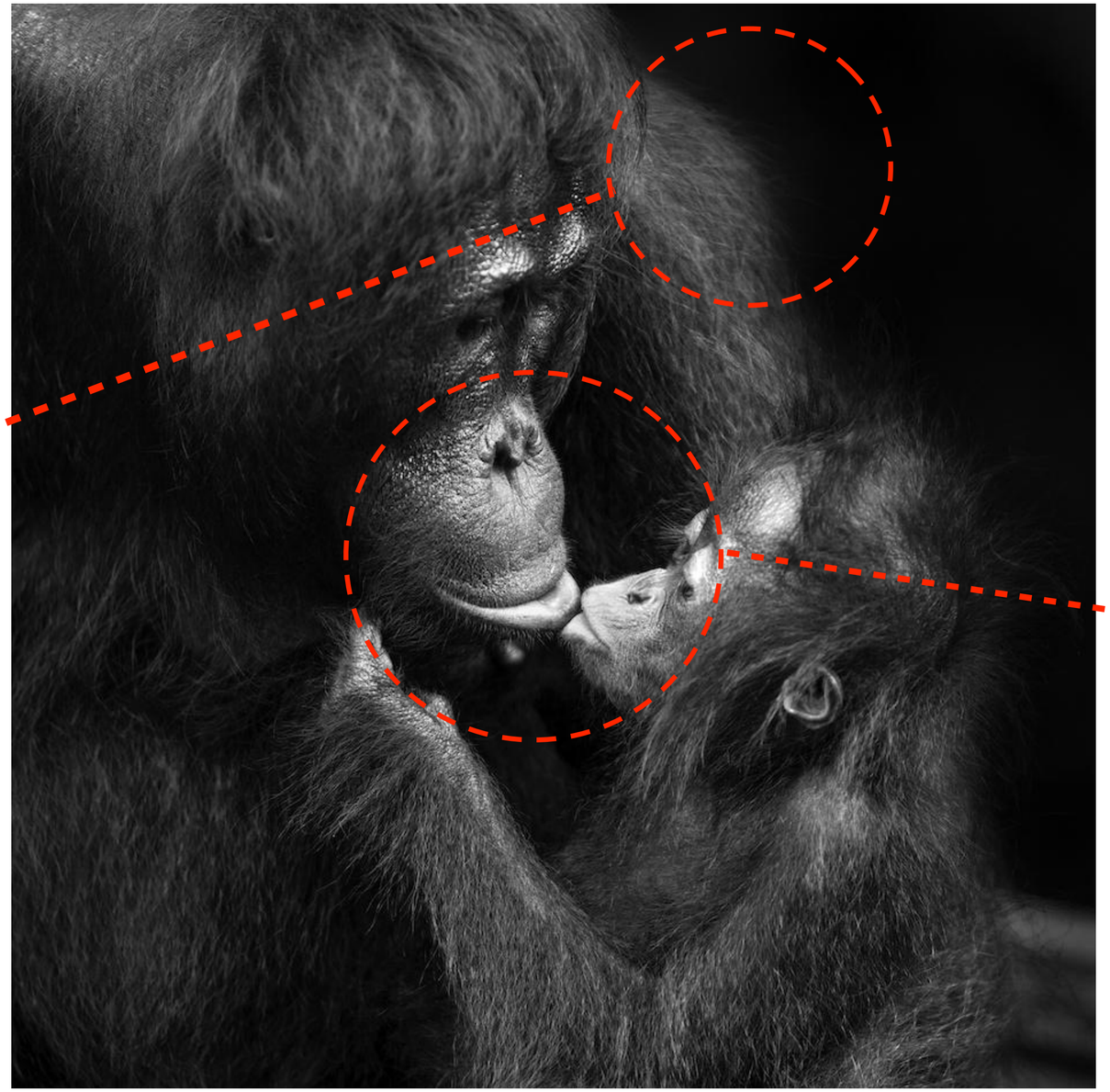
流れのある形、カラフルならせん状、濁った砂の色のコントラストが強調されています。コントラストがあることで、見る人は作品にひきつけられます。

見学者の人々によってできている地面の影が、作品にしっかりとしたフレームを形作っています。

ロミュアルド・アゾゥメ「Aladé」2016年 © Romuald Hazoumè. Courtesy October Gallery, London. KYOTOGRAPHIE 2018

イサベル・ムニョス 「キャンプ・リキー」《霊長類》シリーズより ボルネオ 2015 年 © Isabel Muñoz KYOTOGRAPHIE 2017

背景の強い黒が
ふさふさなチンパンジーの
毛の質感を強調しています。



光のスポットによってコントラストが生まれ、焦点がはっきりします。

イサベル・ムニョス 「キャンプ・リキー」《霊長類》シリーズより ボルネオ 2015 年 © Isabel Muñoz KYOTOGRAPHIE 2017

Silk Drying 2, Kyoto, Japan 1951 © Werner Bischof /Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2014

芸術の
要素

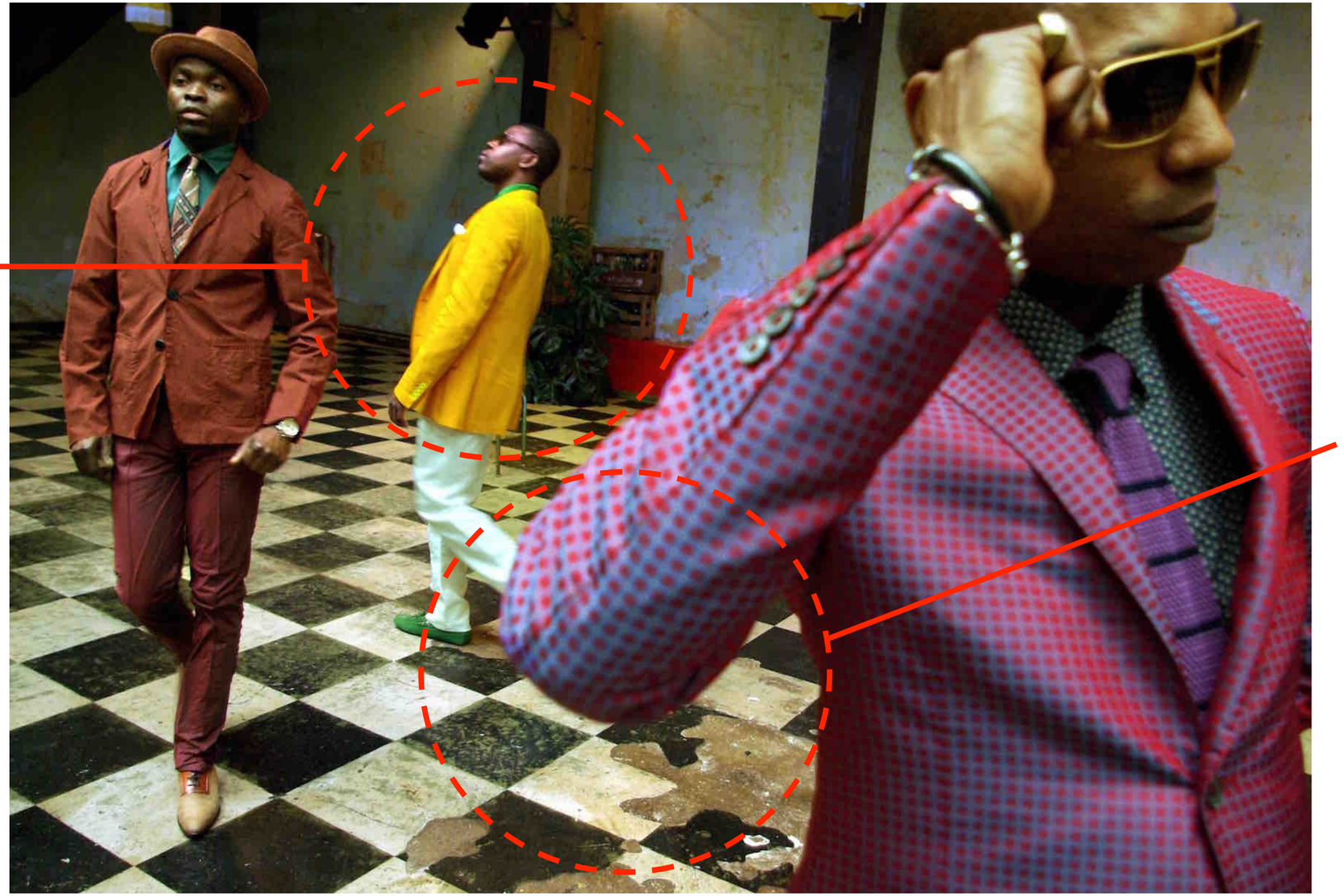
揺らめく線の繰り返しがリズム
と躍動感を生んでいます。

Silk Drying 2, Kyoto, Japan 1951 © Werner Bischof /Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2014

ボードワン・ムアンダ
［バコンゴのファッショニスタ「サプール」］2008 © Baudouin Mouanda
KYOTOGRAPHIE 2015

芸術の要素

落ち着いた色調の背景のなかでは特に明るい色に目がいきます。



スーツや床の柄によって力強さやリズムが生まれます。

ボードワン・ムアンダ
［バコンゴのファッショニスタ「サプール」］2008 © Baudouin Mouanda
KYOTOGRAPHIE 2015

榮榮&映里 [妻有物語] 2014 © RongRong & inri

KYOTOGRAPHIE 2015

芸術の
要素

光によって強調され、
はっきりしたコントラストができています。

榮榮&映里 [妻有物語] 2014 © RongRong & inri
KYOTOGRAPHIE 2015

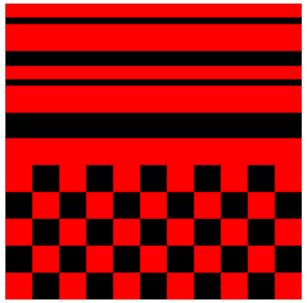
縦と斜めのラインがフレームの役割となり焦点が真ん中にあるという事が分かります。

3 芸術的とされる作品とは
撮ってみよう!

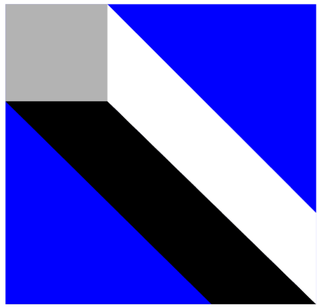
4枚の写真を撮りましょう。 写真を撮るときは、次のような「要素」を意識して、これらの「要素」がどういうふうに写るかを考えながら撮ってみましょう。

線、形

色



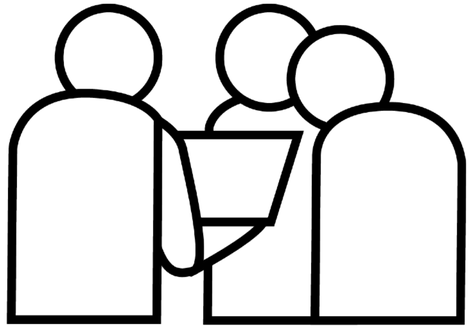
質感



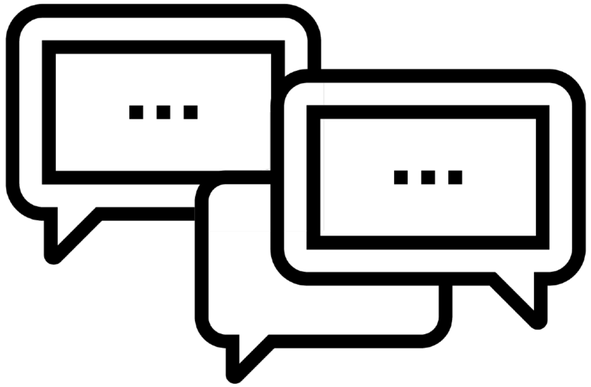
光

さらに可能であれば、いくつかの「要素」をミックスした写真を撮りましょう。線と繰り返し（反復）。模様と形。光と質感など。

4 芸術的とされる作品とは
講評し合おう!



２、３人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。



- どの写真が一番面白いですか？
- うまく撮れていると思う写真を３枚選び、目を引くポイントはどこで、どのような特徴があるのか話し合ってみましょう。

1 主題
キーワードを理解しよう！

被写体：テーマやコンセプト（主題）を伝えるための人、物、風景

作者の考え（主題）：被写体を通して、または何かのイメージによって、伝えたい気持ちや考えを「主題」と呼びます。

「主題」がはっきりとあると、見る人にあなたの考えがしっかり伝わる作品になります。

2 主題
観察、分析してみよう！

写真の中の被写体をじっくり観察しましょう。写真全体を眺めてその他の細かい所もよく観察しましょう。

作者が作品づくりに選んだ「主題」はなんだと思いますか？

その被写体は、細部までみえるように撮られていますか？
それとも全体がみえるように撮られていますか？

その被写体はどのように配置されていますか？
どこか一点に目が行くように配置されていますか？
それとも一点だけに目が集中しないように配置されていますか？

作者は写真を通して、何を私たちに知ってほしいのでしょうか？
何を考えてほしいとおもっているのでしょうか？

From the 247th to 341st Day, Tohoku © Tadashi Ono.
KYOTOGRAPHIE 2013

From the 247th to 341st Day, Tohoku © Tadashi Ono.
KYOTOGRAPHIE 2013

主題

主題、テーマ: 環境破壊、 人が自然に及ぼす影響、自然と人工物。

どんな被写体を使ってこれらの主題を伝えようとしていますか？

この写真は、東日本大震災の後に起った津波により壊れた橋です。自然と人間の関係を写真家は表すことができます。

クリス・ジョーダン「CF000478 コアホウドリのヒナの体に入っていたもの」ミッドウェイ諸島 2009年

©KYOTOGRAPHIE 2015

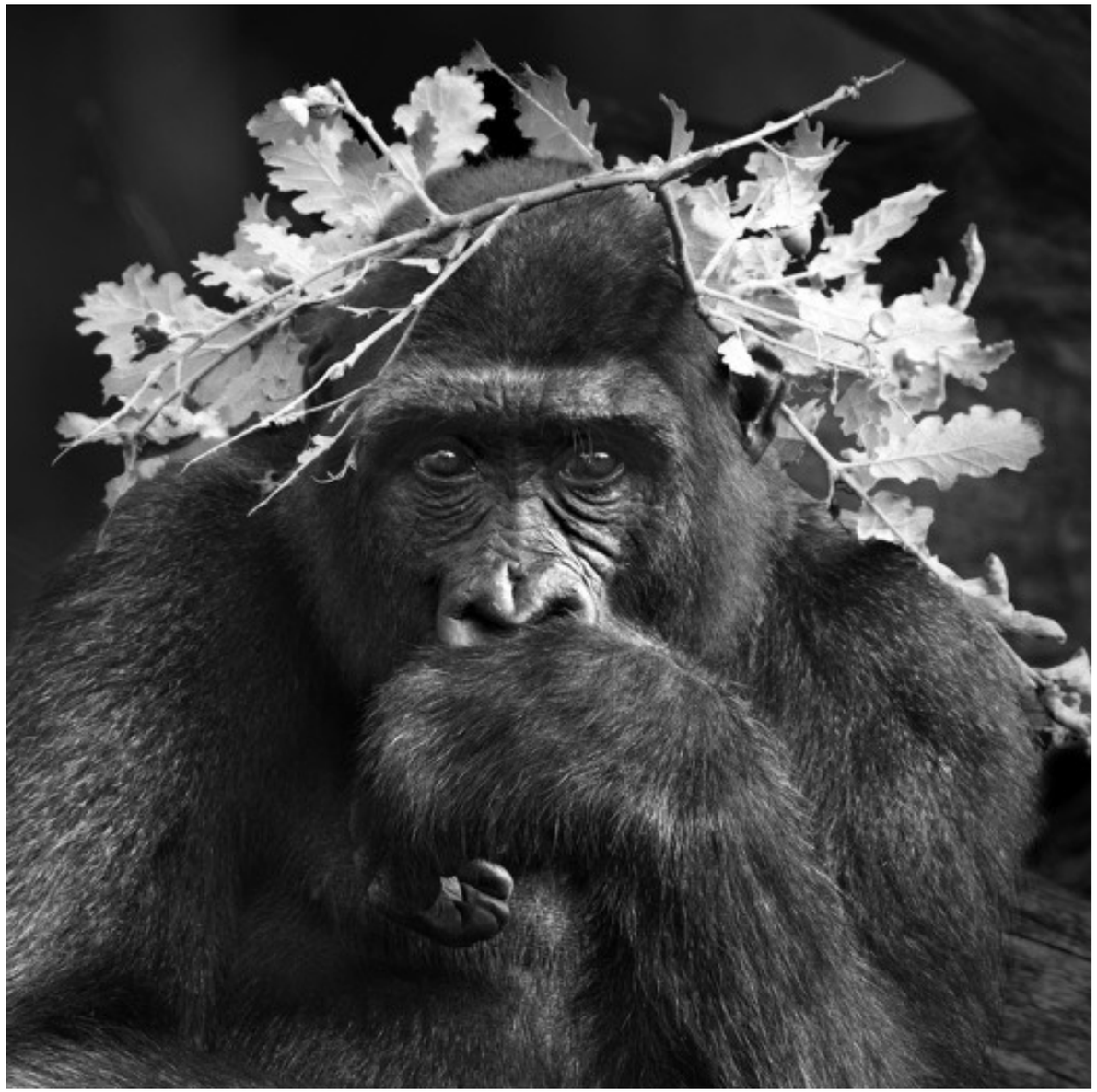
クリス・ジョーダン「CF000478 コアホウドリのヒナの体に入っていたもの」ミッドウェイ諸島 2009年

©KYOTOGRAPHIE 2015

主題

この死んでしまったアホウドリの死体がフレーム全体を使っています。

真ん中に配置されているので、鳥の体の中に入ってしまったカラフルなプラスチックが、鳥の羽に対称的にまざってみえます。

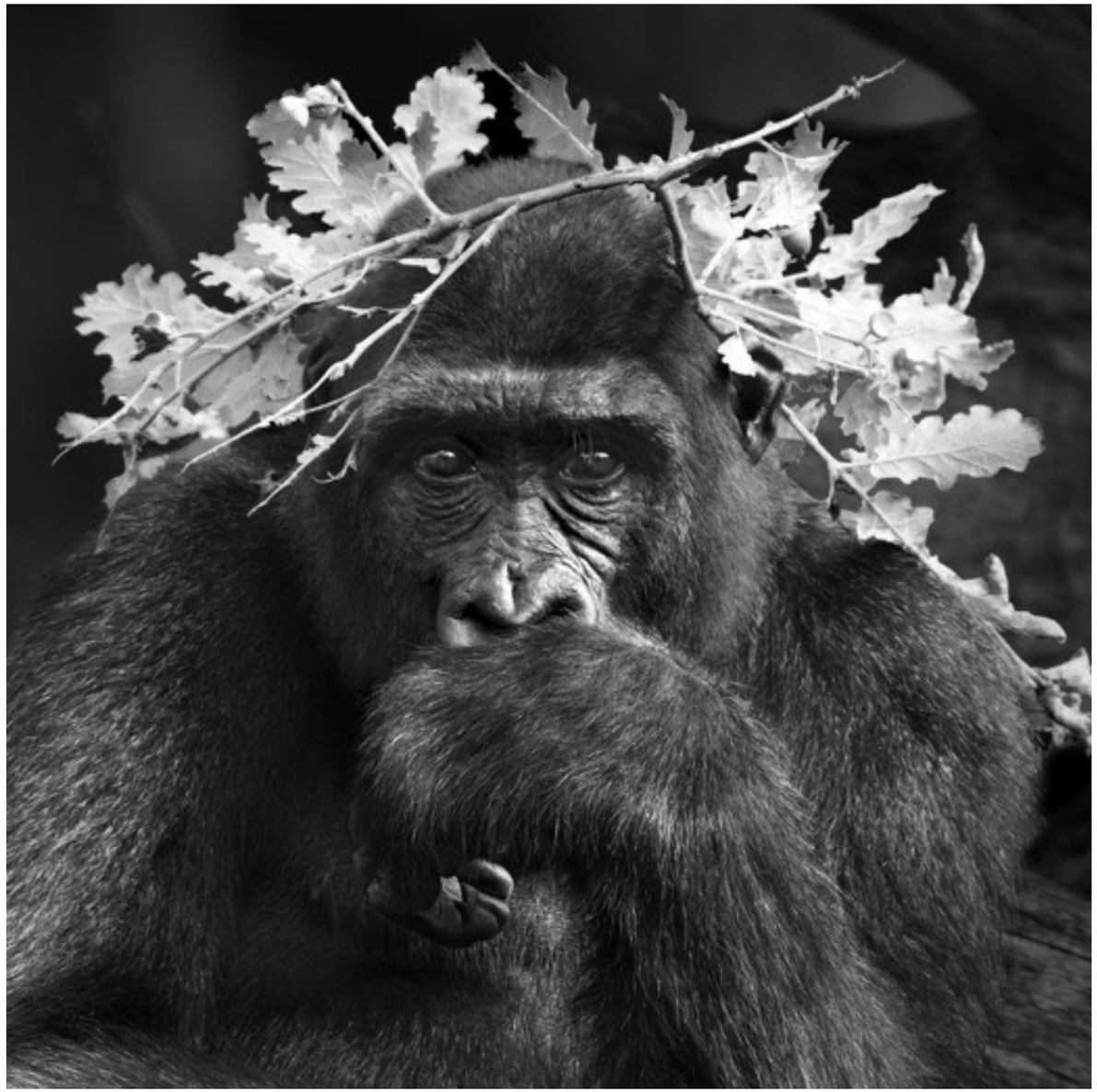


イサベル・ムニョス 《霊長類》シリーズより、ラ・ヴァレ・デ・サンジュ、ロマーニュ（フランス）、2015年©KYOTOGRAPHIE 2017

主題

動物園の中にいるゴリラはこちらをまっすぐに見ているようです。

まるで、人間のように深く考えているようです。



イサベル・ムニョス 《霊長類》シリーズより、ラ・ヴァレ・デ・サンジュ、ロマーニュ（フランス）、2015年©KYOTOGRAPHIE 2017

19 August 1993 Mihama fukui Pref.
©Taishi Hirokawa
KYOTOGRAPHIE 2014

こどもたちが海岸で遊んでいます。背景部分の中央には、美浜原子力原発所が見えます。

19 August 1993 Mihama fukui Pref.
©Taishi Hirokawa
KYOTOGRAPHIE 2014

クリス・スティール＝パーキンス「砂漠の難民：最悪の難民キャンプ、シャアラン・ワン・キャンプでは今日も何千人もの難民が静かに食糧配給の列に並ぶ」
ヨルダン 1990年

© Chris Steele-Perkins / Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2016

主題

この写真の並んだ人たちは
難民です。

この写真は男性の数が多い
ことを強調しています。
私達は、顔を区別することも
できませんし、行列がどこ
で始まり、どこで終わるの
かわかりません。

クリス・スティール＝パーキンス「砂漠の難民：最悪の難民キャンプ、シャアラン・ワン・キャンプでは今日も何千人もの難民が静かに食糧配給の列に並ぶ」
ヨルダン 1990年

© Chris Steele-Perkins / Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2016

ロバート・キャパ「家へもどる人々」、フランス、ポン＝ラベ、1944年6月15日
KYOTOGRAPHIE 2016

主題

光は、穴の開いた靴をはく足にあてられています。

顔も見せず、誰がはいているのかを見る人にわからせない状態になっています。

ロバート・キャパ「家へもどる人々」、フランス、ポン＝ラベ、1944年6月15日

©KYOTOGRAPHIE 2016

ボランティアが, トルコからゴムボートでギリシャのレスボス島の北端にあるスカラカミアスの村近くに漂着する難民を助ける. レスボス島（ギリシャ） 2015年8月

© Paolo Pellegrin / Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2016

主題

１つ前のページの写真と違う写真の撮り方がわかりますか？

難民の人の顔と伸ばす手に焦点があてられていることで、見る人がこの写真から強いメッセージを受け取ります。

ボランティアが, トルコからゴムボートでギリシャのレスボス島の北端にあるスカラカミアスの村近くに漂着する難民を助ける. レスボス島（ギリシャ） 2015年8月

© Paolo Pellegrin / Magnum Photos
KYOTOGRAPHIE 2016

移民収容センターを出て海峡を渡り、英国に不法入国しようとする移民。
サンガット/パドカレ/フランス/2001年

©KYOTOGRAPHIE 2016

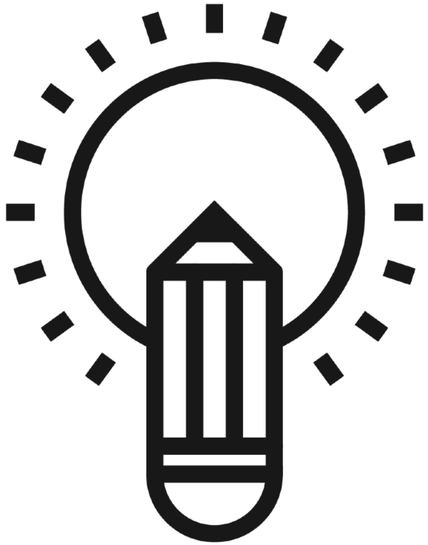
主題

難民の人が希望を持って夢の国に到着しようと歩いています。

ぼんやりした明かりと暗い光は彼らの困難な道を表しています。

移民収容センターを出て海峡を渡り、英国に不法入国しようとする移民。
サンガット/パドカレ/フランス/2001年
©KYOTOGRAPHIE 2016

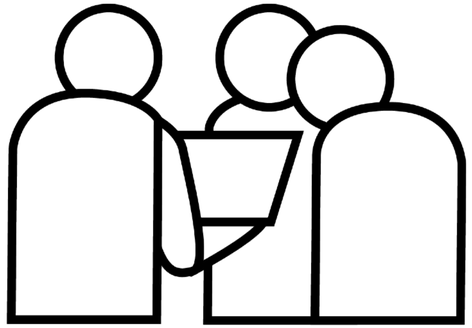
3 主題
撮ってみよう!



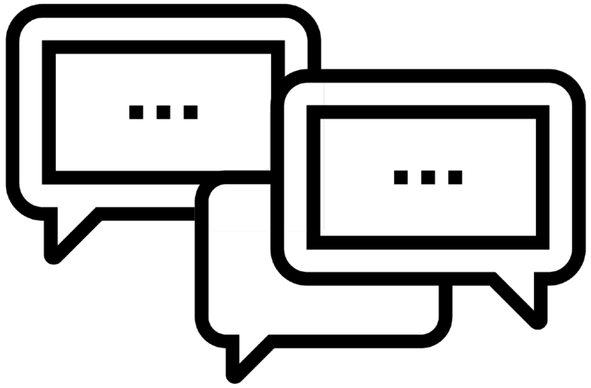
その被写体を通して、あなたが皆に伝えたいと思う「主題」を決め、5枚写真を撮りましょう。

撮影する被写体や主題（コンセプト）を決めましょう。（家族、食べ物、野外のどこか、屋内のどこか、自然、成長など）。

4 主題
講評し合おう!



２、３人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。



- 写真の「主題」が何かを意識して集中して見てみましょう。そこには撮った人のどういう考えからその「主題」が選ばれたのかも考えてみましょう。
- 作者の考えや気持ちを伝えるにあたって、そのやり方は効果的でしたか？
- 作者の考えや気持ちははっきりと伝わっっていますか？もっとはっきりと伝えるために、どんなことができるでしょう？

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019
子ども写真コンテスト

「**KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭**」は、毎年春にお寺や個性的な建物で京都で行われている写真のお祭りです。
（2019年4月13日〜5月12日）
この写真祭には、文化や年齢もそれぞれ違う人たちがいろんな国から参加して作品を展示します。展示された作品を見たり、いろんなイベントに参加することで、写真のおもしろさを体で感じることのできるフェスティバル＝お祭りです。
2019年のテーマは「**VIBE**」です。

あなたの考えた「VIBE」をあなたが撮る写真に取り入れて下さい。

「VIBE」とは気持ちや雰囲気という意味で「言葉ではなく感じるもの」です。
「ワクワクする」「テンションが上がる・下がる」「ハイになる」など様々な気持ちを写真を通じて発見して下さい！
この取り組みを通じて、あなたのすてきな個性と創造性が表現されることを願っています。

それではオリジナルの写真を撮ってみましょう！

KYOTO GRAPHIE
international photography festival

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019
写真への入門

執筆・編集
マルグリット・パジェ（KYOTOGRAPHIE オーディエンスデベロップメントディレクター）
ローラ・ドートマンズ（カナディアンアカデミー美術教員）

デザイン
ジャッキー・トン

翻訳・編集補助
鮫島さやか （KYOTOGRAPHIE　チーフエディター）

Special thanks to
京都市教育委員会 教育長 在田正秀
高倉小学校校長　岸田蘭子校長先生
島井佐枝：KG＋共同ディレクター

© KYOTOGRAPHIE 2019